



2022年3月期 第3四半期決算説明資料

1 2022年3月期 第3四半期決算概要

2 2022年3月期 通期業績予想（変更なし）

【ご参考】 2022年3月期 短期経営計画（期初公表）

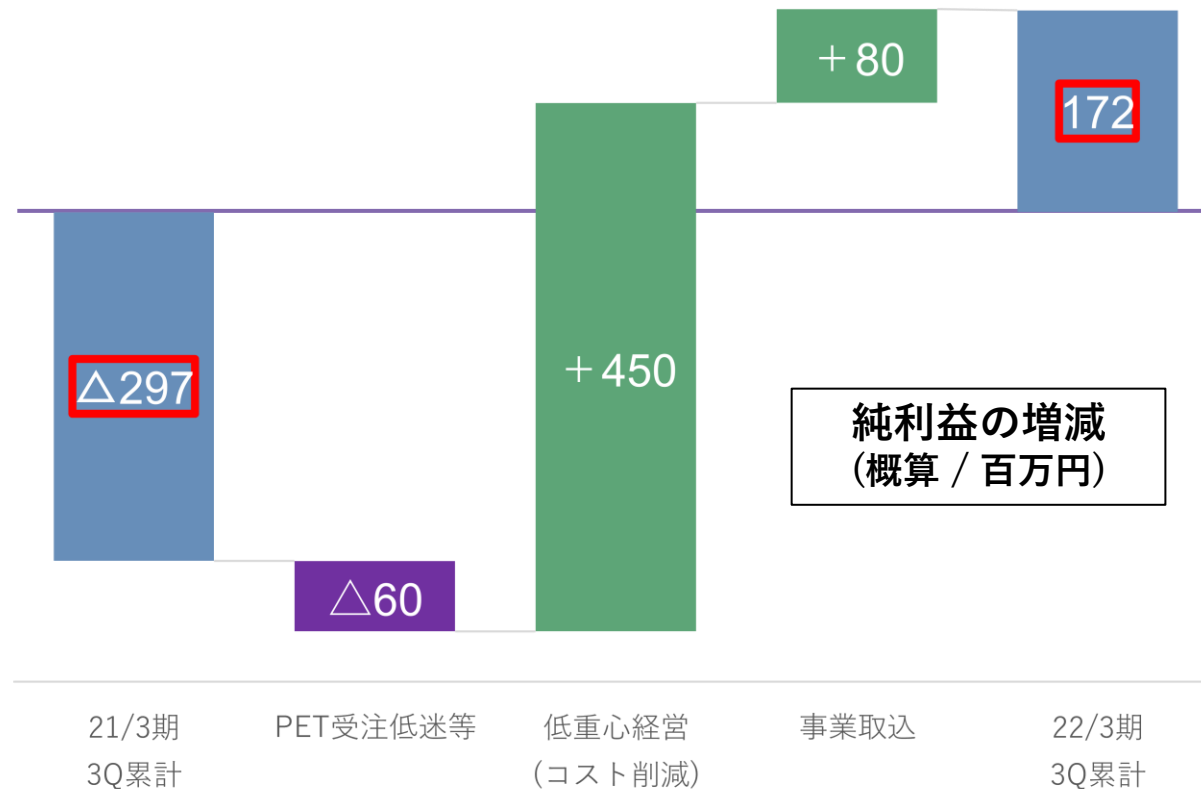
2022年2月7日

ジャパンフーズ株式会社

（証券コード 2599 東証第1部）

単位：百万円	21/3期 3Q累計	22/3期 3Q累計	増 減
製造数（千ケース）	25,023	28,033	+ 3,010
営業利益	△578	△46	+ 532
経常利益	△490	149	+ 639
連結純利益	△297	172	+ 469

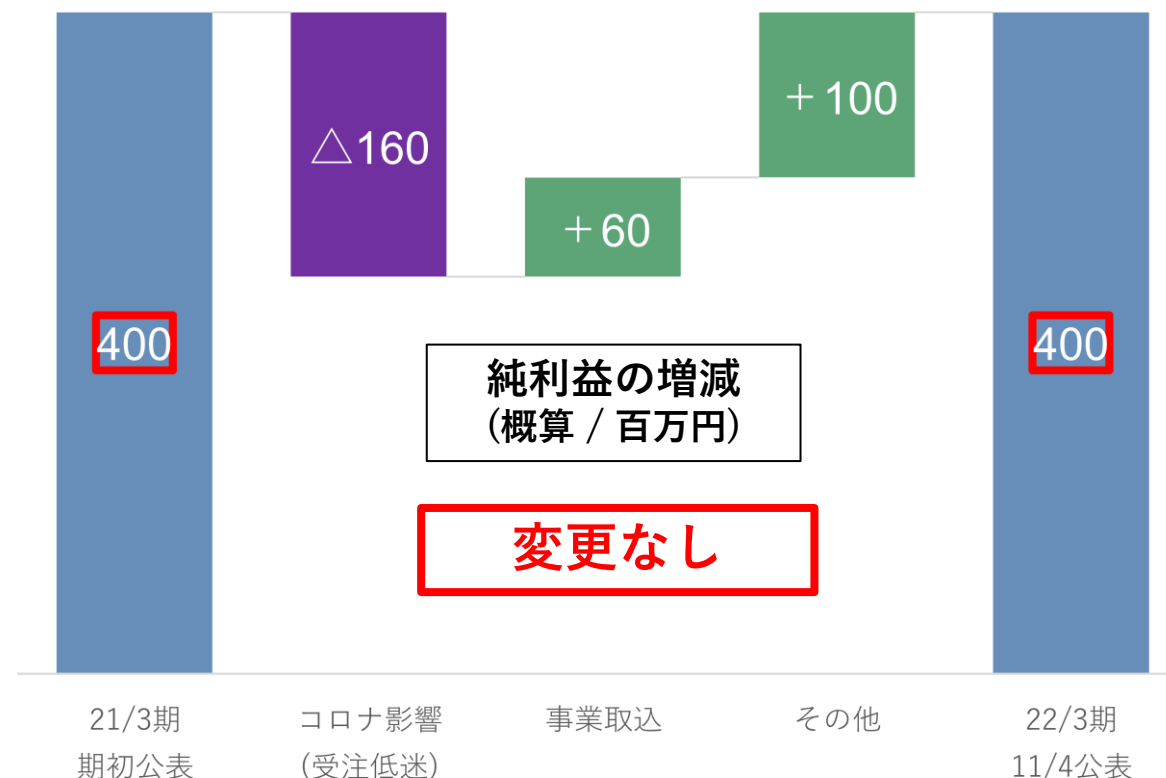
単位：百万円	3Q累計	3Q累計	増 減
JF単体（コア）	△439	△49	+ 390
事業取込利益等	142	221	+ 79
ジャパンフーズ 連結	△297	172	+ 469



- 新缶ラインの稼働に伴い製造数は増加したものの、新型コロナによるPET受注の低迷が大きく影響
- 低重心経営(コスト削減)は大きく進捗
- 事業取込益は堅調に推移、前期コロナ反動もあり増益

単位：百万円	22/3期 期初公表	22/3期 11/4公表	増 減
製造数 (千ケース)	41,300	39,700	△1,600
営業利益	440	220	△220
経常利益	510	340	△170
連結純利益	400	400	±0

単位：百万円	22/3期 期初公表	22/3期 11/4公表	増 減
JF単体 (コア)	260	200	△60
事業取込利益等	140	200	+60
ジャパソフーズ 連結	400	400	±0



- 期初想定以上の新型コロナウイルス感染症拡大による受注低迷
- 事業取込利益は引き続き堅調
- その他、スクラップ & ビルド 計画に係る固定資産撤去費用引当金の一部取崩し等

単体・コア

【ふ・け・かの進化】

低重心経営

品質経営

「ひとが第一」
「持続可能な経営」

	アクションプラン
防ぐ (ふ)	<ol style="list-style-type: none"> 1. ジャパンフーズ品質基準（JQS）に基づく品質改善活動の活性化 2. 工場の安定稼働による生産性の向上、最高品質の提供 3. 効率的な設備メンテナンス、予防保全の徹底 4. 新型コロナウイルス感染症の予防徹底
削る (け)	<ol style="list-style-type: none"> 1. アウトソーシングの見直し、業務内製化によるコストダウン 2. 物流効率化による余剰コストの削減 3. 省エネ（ユーティリティ原単位削減）、環境への配慮 4. 生産管理機能の強化による生産効率のモニタリング
稼ぐ (か)	<ol style="list-style-type: none"> 1. コロナ渦中・アフターコロナの顧客ニーズ汲み上げ、提案力強化 2. 高効率な工場稼働による受注・生産の極大化 3. 全方位外交の進化、既存・新規顧客満足の追求

連結・事業会社

中期経営計画

実績 / 2022年3月期 計画

単位：百万円		20/3期	21/3期	22/3期	20/3期 実績	21/3期 実績	22/3期 計画
連結純利益	JF単体（コア）	462	605	640	101	△724	260
	事業会社取込等	88	95	110	18	226	140
	ジャパンフーズ連結	550	700	750	119	△498	400

【各事業会社の状況・アクションプラン等】

JFウォーターサービス （水宅配事業）	Water Net （水宅配フランチャイズ事業）	TPC （海外飲料受託製造事業）
<ul style="list-style-type: none"> ■新商材の販売促進 ■自社商品販売とのシナジー ■配送エリア毎の物流効率化 	<ul style="list-style-type: none"> ■加盟店新規開拓による安定成長 ■生産拠点増加による物流効率化 ■JFとの人材交流加速 	<ul style="list-style-type: none"> ■業績安定、受注増加への対応 ■設備メンテナンスの効率化 ■チャイナリスク影響の極小化